

6年生 【C 読むこと】 物語教材			中心教材と言語活動			
学年目標	知・技	日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに,我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	生お「 き家サ 方のポ が人テ 伝にン わ`の る自花 よ分「 うが に考 朗え 読た をサ しポ よテ うン 。の	を大「 絵好風 にき切 表なる し物つ て語ば 、のさ お登「 話場 絵人 画物 展の を関 し係 よや う心 。情	かに平「 せ`和ヒ よ平にロ う和つシ 。朝いマ 会ての で考う 他えた 学た「 年こ におを 話をえ 読む みた 聞め	書「「 座命海 談・の 会生い をきの し方ち よ」 うを 。テ ー マ に、 海 の 命 読
	思・判・表	筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い,日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め,自分の思いや考えを広げることができるようにする。				
	態度	言葉がもつよさを認識するとともに,進んで読書をし,国語の大切さを自覚して,思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。				
≪対話的な学びのための作法≫ ・叙述に根拠（どこからそう思うのか）を求める。 ・自分と同じところ、違うところを伝え合う。 ・「～が言っているのは、こういうこと」と代わりに言えるくらいまでよく聞く。 ・分からないことは、くわしく聞き返す。						
【知・技】	読書	オ.日常的に読書に親しみ,読書が,自分の考えを広げることに関与することに気付くこと。		○	○	○
【思・判・表】 C読むこと	構造と内容の把握	イ.登場人物の相互関係や心情などについて,描写を基に捉えること。	○	○		
	精査・解釈	エ.人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり,表現の効果を考えたりすること。	◎	◎	◎	
	考えの形成	オ.文章を読んで理解したことに基づいて,自分の考えをまとめること。				◎
	共有	カ.文章を読んでまとめた意見や感想を共有し,自分の考えを広げること。	○	○	○	◎
【知・技】	言葉の働き	ア.言葉には,相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くこと。				
	語彙	オ.思考に関わる語句の量を増し,話や文章の中で使うとともに,語句と語句の関係,語句の構成や変化について理解し,語彙を豊かにすること。また,五感や言葉の使い方に対する感覚を意識して,語や語句を使うこと。				
	表現の技法	ク.比喩や反復などの表現の工夫に気付くこと。				
	音読・朗読	ケ.文章を音読したり朗読したりすること。	◎			
学習用語	・登場人物の関係（人物相関図）			○		
	・朗読		○			
	・心情の変化					
	・推薦する（他の作品や叙述と比較して、固有のよさを明確にする）				○	
	・読書座談会					○